

授業科目名： 教育原理	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 古塚典洋 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 以下の項目について認識を深める。 (1) なぜ教育原理を学ぶのか—教育は人間と社会にとってなぜ必要か (2) 教育の本質と目標—義務教育とは (3) 子どもの発達と学習—子どもの権利・学力・学歴とは (4) 学校のしくみ—教育制度・教育課程・生活指導 (5) 教育の歴史①—近代学校の成立と歴史的展開 (6) 教育の歴史②—戦後の教育のあゆみ (7) 現代の教育をめぐる問題—学習指導要領を中心に (8) 教員の資質—教職の意義と課題 (9) 教育思想—近代の西洋の教育思想から戦後の日本の教育思想まで			
授業の概要 教えることの源の源を示すのが教育原理である。教育原理は教育の目標や目的、歴史や制度、具体的な内容や方法や計画などを根元から支えてくれる。この科目では、教えることの源とそれにかかわる諸問題の中心を理解し実践できるようにするための基礎的な知識を身につけることをねらいとする。			
授業計画 第1回：教えることの原点 第2回：人が人を教えること 第3回：社会にとって必要な教育 第4回：個人にとって大切な教育 第5回：子どもが育つということ 第6回：教育と学校の歴史①—近代教育思想の誕生 第7回：教育と学校の歴史②—教育を受ける権利 第8回：教育と学校の歴史③—公教育と学校制度 第9回：学校制度を考える①—教育課程 第10回：学校制度を考える②—学習指導要領 第11回：教師の仕事①—資質と能力 第12回：教師の仕事②—子どもを理解する 第13回：教師の仕事③—よい授業をつくる 第14回：教師の仕事④—学び続ける教師像 第15回：まとめ—教えることと学校の未来を考える			
スクーリングでの学修			
テキスト 勝野正章、庄井良信（2022）『問いからはじめる教育学〔改訂版〕』有斐閣、978-4641151062			
参考書・参考資料等 (1) 河合隼雄（1992）『子どもと学校』岩波書店、978-4004302124 (2) 中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』令和3年1月26日 https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_2-4.pdf			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			